



じしゅうとうこうざん
時宗 東岡山

福田寺だより



ホームページ



LINE公式



Instagram



「一粒万倍」

【写経会：10月26日(土)14時～16時受付】

用具は貸出あり。手ぶらでも大丈夫です。

「暑さ寒さも彼岸まで」。先人の言葉通り、ようやく秋の気配が訪れました。今年、京都市は猛暑日(35℃以上)が54日、熱帯夜(夜間25℃以上)が64日を数え、最多記録を更新したそうです。いずれも3年前の数倍程ですので、本当に暑い夏でした……。

さて、今月の御朱印には稲穂とカカシの消しゴムはんこに「一粒万倍」の文字を入れさせていただきました。月替りの御朱印を初めてから4度目の10月を迎えたのですが、実は毎年稲穂の御朱印を作っています。福“田”寺ですから稲穂の実りはどうしても外せません。今後も「福実る寺」のキャッチフレーズを推していきたいと思っています。先程の「一粒万倍」と聞くと、多くの人が「一粒万倍日」を思い浮かべるのではないのでしょうか。運勢がいい日として、宝くじ売り場などでも盛んにアピールされていますね。実はこの一粒万倍はもともと仏教の言葉に由来します。

『報恩経』という經典に「世間に利を求むるは、田を耕す者に先んずるはなし。一を種^うえて万倍す。」(世の中で利福を求めらば、田を耕す者が一番となろう。一粒の種^{もみ}を植えて万倍もの稲穂を実らせるからだ)とあり、これが一粒万倍の語源だと言われます。

「少しの元手で大きな利益を得ること」の譬えとされていますが、もう少し踏み込めば一つの種^うと一つ善行だと考えられます。すなわち一つの善行をすることによって、万倍の利が自分に返ってくるということです。

仏教は「善因善果」「悪因悪果」を説きますので、善い行い、悪い行いは原因として、善果悪果のいずれかを生みます。中には善人が早逝したり、悪人が長寿を全うしたりと、懐疑的に思われるかもしれませんが、善悪の結果が現世で現れるか、来世で現れるかは分からないのです。ですが、いずれどのようなかたちであれ因果の報いを受けることとなります。悪行をしない人間などいませんが、少しでも善行を積む努力が大切なのだと思います。そして結果を生むもう一つの要因が「縁」です。縁とは間接的な要因であり、稲でいうところの土や水、太陽などです。何事にも多くの縁が合わさって結果を生むということも忘れてはなりません。

かのメジャーリーガー大谷翔平選手は練習中や試合中にグラウンドやベンチのゴミ拾いをたびたびしています。その理由は「人が捨てた“運”を拾っている」からだそうです。人並ならぬ努力だけでなく、善行や善き縁もあの素晴らしい活躍を支えているのでしょう。 合掌



10月限定御朱印



フジバカマ